



地域の安全安心を守る
田村市消防団
 No.40
 消防団だより

若手団員に聞く 消防団のリアル

第1分団 1部
 吉田 巨倅さん
 (22歳、入団2年目)

第3分団 2部
 郡司 拓実さん
 (26歳、入団3年目)

第2分団 2部
 草野 拓さん
 (27歳、入団4年目)

@滝根地区隊

▲昨年10月4日に行った「田村市消防団隣接地区隊連携訓練」の様子



滝根地区隊では、消防団の現場の声を届けるため、20代の団員に話を聞きました。(敬称略)

—入団したきっかけを教えてください。

草野 僕はもともと地元で若連に参加していたので、若連の仲間のおかげで消防団に入団したんです。だから、地元で退団者が出たときに、自然と入団しました。

郡司 僕は、父が入団していたので、父と入れ替わりです。

吉田 僕は消防団の勧誘です。僕は滝根の外から転居してきたので、家族も「地元の人や場所を覚えるのいい」と賛成してくれています。

—入団してみてもいいですか？

吉田 消防団のことはあまり知らずに入団したので、分からないことばかりです。でも、先輩方が面倒を見てくれるので助かっています。地元の知り合いが増えてうれしいですね。

草野 確かに知り合いが増えますね。特に世代の違う人と交流するから、消防団以外の活動にも生かされていると感じています。僕が入団して思ったのは、消防団はメリハリを付けて活動しているってことです。「締めるときは締める、緩める

—訓練などの活動はどのようですか？

草野 団員が少なくなっている中で、行事や訓練の内容・方法も、少しずつ変えるべきものもあるのではないのでしょうか。

郡司 そうですね。団員一人一人への負担が大きくなりやすいようにしてほしいと思います。訓練だけでなく、通常の機械点検、火防督促や水利管理も、限られた人員で行っていますから。

吉田 若い人が少しでも入ってくればいいんですけどね。僕も先輩が欲しいです。

草野・郡司 それが一番。

草野・郡司・吉田 自分たちのまちを自分たちの手で守るため、消防団に入りませんか？特に若い皆さん、お待ちしております！

新入団員を募集しています！

田村市消防団では、新たに入団したい方を募集しています。

詳しくは、お近くの消防団員、市民部生活環境課または各行政局までご連絡ください。

市民部 生活環境課
 ☎81・2272
 各行政局

ときは緩める」みたいな。
郡司 分かります。僕も火災や訓練の話は聞いていたので、少し構えていたんですが、消防団の雰囲気は堅苦しくはなかった。上下関係が厳しいイメージもあったけど、それは有事の組織だから。普段はみんな、話しやすいですよ。うちの分団は年配の先輩が多いのですが、僕は懇親にも積極的に参加しようとしています。年代の違う人と交流できる貴重な機会だと思いますね。

—火災現場で印象に残っていることはありますか？

吉田 僕が初めて出動したのは、住宅火災でしたね。入団したばかりで、何をしていたか分からずに、先輩方を見ていただけでした。

草野 それは仕方ないよ。現場の場数を踏むのが大事。それに、火災とか緊急時に何をすべきかを判断するのは、上の役職の人。そのため役職ですら。

吉田 そうは言っても、そのときの先輩方はかっこよかった。

草野 僕が初めて出動した火災では、住宅が全焼しました。全焼するほどの火災では、多くの人員が必要だと思いました。



滝根地区隊長
 角田 久夫さん
 (58歳、入団31年目)

人口減少と少子化によって消防団員の確保が難しくなっている中、滝根地区隊では、組織、団員定数や行事を見直してきました。今後も消防団機能の維持に努め、人員、組織や設備のあり方を検討していきます。
 今回は、若い団員が地域のことを考えて活動していることに、頼もしさを感じました。
 引き続き地域の安全安心のために活動していきますので、滝根地区隊をよろしくをお願いします。